

*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

*本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

パワフルで効率的な 3.0ℓ 6 気筒ディーゼル

新型 Audi Q7 の発売に合わせて、アウディはパワフルで極めて効率的な 3.0ℓ V6 ディーゼルエンジンを 2 つの出力レベルで提供します。一つは最高出力 220 kW (299 PS) 最大トルク 630 Nm、もう一つは 180 kW (245 PS) 最大トルク 500 Nm です。このパワートレインは、MHEV plus テクノロジーと EPC (電動コンプレッサー) を組み合わせており、力強い発進加速と高い効率性を両立しています。

MHEV plus アーキテクチャは、BAS (ベルト駆動式オルタネータースターター)、Audi Q7 のために改良された PTG (パワートレインジェネレーター) およびリン酸鉄リチウム電池の 3 つの主要コンポーネントで構成されています。これによりパフォーマンスとドライビング体験を向上させるだけでなく、燃料消費量と CO2 排出量も削減します。PTG は、取り回しや駐車、市街地走行などの場面で短時間の部分的な電動走行を可能にし、最大 18 kW (24 PS) と最大トルク 370 Nm の出力を発揮して、発進や追い越しをサポートします。

EPC は、エンジン回転域全体で作動します。これにより、リニアで素早いレスポンス、中速域での優れた加速性能、よりダイレクトなペダルフィール、高い効率性、そして長期的な耐久性の向上を実現しています。PTG がすでに電動トルクを供給している一方で、EPC は 3.4 bar (絶対圧) のブースト圧を極めて短時間に立ち上げます。これらが連携することで駆動系においてトルクがなめらかに立ち上がり、そのフィーリングは同等のパワーを持つ電気駆動車に近いフィーリングを実現します。加速時には、コンプレッサーホイールはわずか 250 ミリ秒で最大 90,000 rpm まで回転します。電動ブーストとディーゼルエンジンを組み合わせることで、この V6 TDI はそのパワーを力強く路面へと伝えます。

さらに、新型 Audi Q7 では HVO 燃料を給油することも可能です。HVO (水素化処理植物油) は、使用済み食用油などの残留物や廃棄物から生成され、CO2 排出量を石油由来のディーゼルと比較して、最大 70 ~ 95%削減することが可能です。これは混合燃料としても、純燃料としても使用することができます。

快適、スポーティ、そして自信に満ちたハンドリング

新型 Audi Q7 は、卓越した乗り心地を実現し、あらゆる路面状況にも難なく走破します。これはアウディの DNA を顕著に体現しています。ここで重要な役割を果たすのが、オプションのアダプティブエアサスペンションです。低速での取り回しを大幅に向上させるオールホイールステアリングと組み合わせることで、高速域での精密さと安定性が著しく向上します。

Audi Q7 には、3 種類のサスペンションシステムが用意されています。スチール素材のスプリングを採用した標準装備のサスペンションは、先代モデルを上回る快適な乗り心地を提供します。電子制御ダンピング付きのアダプティブエアサスペンションは、滑らかな乗り心地からスポーティなハンドリングまで、幅広い走行特性を提供します。アダプティブエアサスペンションスポーツでは、車高をベースモデルより 30 mm 低く設定し、Audi Q7 のスポーティさをさらに高めます。いずれのエアサスペンションオプションも、車両の負荷を自動的に調整し、常に車両を水平を保ちます。リフト機能作動時には、地理情報に基づいて、ルート状況に適応します。例えば、ルートに踏切が含まれる場合、Audi Q7 はスムーズに横断できるようにサスペンションを調整します。新採用のエグジット機能では、balanced driving mode (バランスドライブモード) を選べば車高が 62 mm 下がって乗降しやすくなり、アダプティブエアサスペンションの利便性をさらに高めています。

アウディは、新型 Audi Q7 のドライビングエクスペリエンスを向上させるとともに、その外観を引き立てる、幅広いアルミホイールを用意しています。標準の 20 インチに加え、さらに 3 種類の 21 インチがオプションで用意されています。また、Audi Sport GmbH 製のスポーティな 5-V デザインを含む 4 種類の 22 インチホイールは、Audi Q7 の外観をさらにスポーティに演出します。そして今回初めて、Audi Sport 製の 23 インチのアルミホイールを工場出荷時に直接注文できるようになりました。プラチナグレー仕上げの 5-V デザインホイールや、オールブラック仕上げのマルチスポークホイールなどのラインアップがハイライトです。

Audi Q7 は、統合ブレーキ制御システムとベンチレーテッドディスクブレーキによって停止します。フロントには、最大 400 mm の軽量コンポジットブレーキディスク、リヤには、直径 350 mm のブレーキディスクが装備されています。6 ピストン固定型キャリパーはグレーが標準装備で、オプションでレッドが選択可能です。また、ブレーキおよびアクセルペダルには、オプションでステンレス製ペダルキャップを選択することが可能です。

プロアクティブで便利なドライバーアシスタンス機能

新型 Audi Q7 は、アクティブおよびパッシブな包括的安全システムを特徴としています。これらには、以下が含まれます。

- 自動緊急ブレーキシステム：歩行者および自転車検知機能を備えた、前方および後方衝突回避
- ブラインドスポットモニタリング：隣接車線に車両がいる場合の視覚および触覚による警告
- リヤクロストラフィックアラート：駐車スペースから後退する際に接近する車両の警告
- 360 度カメラシステム：駐車や取り回しのためのマルチビューアングルを備えたサラウンドビューカメラ
- パークアシスト：ステアリング、加速、ブレーキをコントロールする並列駐車および縦列駐車
- トレーラーマニューバリングアシスト：トレーラーけん引時に後退する際のステアリング操作を代行。ドライバーは MMI ディスプレイを介して進行方向をコントロール
- トレーラースタビリティコントロール：トレーラーの揺れを検知し、特定のホイールにブレーキをかけて安定化
- 統合トレーラーブレーキコントロール：トレーラーブレーキのシームレスなコントロール。工場出荷時に標準装備

エグジットワーニングは Audi Q7 の特徴的な機能で、さまざまな道路利用者が関与する都市部の交通において安全性を向上します。リヤバンパーに搭載されたレーダーセンサーが停車中の Audi Q7 周辺を監視し、接近する車両や自転車、歩行者を検知します。システムが衝突の可能性を検知した場合、ドアの開閉ができなくなったり、すでに開き始めているドアを停止させたりし、ドアの内側に警告を表示します。この機能は、ルームミラーを使用できない後部座席の乗員（特に子供たち）を守るためにも設計されています。

Audi Q7 には、新たなエマージェンシーアシスト機能である路肩への操舵が搭載されました。エマージェンシーアシストは、システム作動範囲内においてドライバーの反応がないことを検知し、視覚、聴覚、触覚による警告によって運転操作への復帰を促します。それでも応答がない場合、システムが車線維持と段階的な減速を行います。ハザードランプの点灯、シートベルトの引き込み、およびブレーキの急作動などの追加措置も行われます。

高速道路では、エマージェンシーアシスト機能が、30～50 km/h の速度域で Audi Q7 を空いている路肩へと誘導し、停止させます。この機能は路肩が車両の走行車線に隣接している場合にのみ作動し、オーディオチャルコックピットのメッセージとターンシグナルによってドライバーに示され、それからシステムが路肩への移動を開始します。路肩への移動ができない場合、Audi Q7 は現在の走行レーン内で車両を制御しながら停止します。さらに、数秒間ドライバーの操作がない場合、緊急通報が作動します。

もうひとつの新機能は、reduce（リデュース）と normal（ノーマル）の 2 つのモードを備えた車線逸脱警告です。リデュースモードでは、道路が空いている状態で車両が車線から逸脱し始めた時には、ステアリングホイールをわずかに振動させ、ディスプレイ上の赤いラインを表示してドライバーに注意喚起を行い、交通状況に応じて補修的なステアリング入力が行われます。一方、ノーマルモードでは、交通状況に関わらず、車線を外れると自動ステアリング補正、視覚的な警告、およびステアリングホイールの振動が行われます。

トレインドパーキングは、Audi Q7 に個別の駐車操作を学習させることができます。カーポートやガレージへのアクセスが困難な場合、一度学習させれば、ドライバーの監視下で自動で駐車を行います。駐車スペースからの出庫についても同様です。新型 Audi Q7 は、最大 200 m までの駐車操作を 5 つまで記憶でき、それぞれの操作に個別の名称を付けることが可能です。新しいリバースアシストは、狭い路地

や駐車場での後退時に確実なサポートを提供します。Audi Q7 は約 50 m のルートを記憶し、最高 10 km/h の速度で自動的に後退することが可能です。市街地での運転では、パーキングシステム付きのパークアシストプラスが、超音波センサーで適切な並列または縦列駐車スペースを検知し、的確なステアリング操作でドライバーをサポートします。パークアシストは、駐車スペースからの後退時にもサポートを行います。ドライバーが手動で駐車している最中でも作動させることができますが、ドライバーはディスプレイ上の指示に従い、適切にアクセルとブレーキ操作を行う必要があります。4 つの広角サ라운드ビューカメラが車両周囲のエリアを完全にカバーし、さまざまなビューを提供することで、さらに快適な操作を可能にします。MMI ディスプレイ上に表示される複数のビューにより、駐車スペースへの車両の位置合わせが容易になります。

新型 Audi Q7 の販売について

これまでの世代と同様に、第 3 世代の Audi Q7 はブラチスラバで生産されます。2026 年 6 月から注文受付を開始し、9 月から納車開始予定です。